

### 市道Ⅱ-9号線について



井上 徹 議員

#### 現在の道路環境について

**Q** 補修後2年半の道路とは思えない状況だが、市では把握しているか。

**A** 東京電力の修繕工事直後に再生土の搬入が開始されたことから、定期的なパトロールで道路状況を注視してきましたので、現在の状況も把握しています。

**Q** パトロールをしているとのことだが、いつからそのような状態になったのか。

**A** 平成30年3月初旬から再生土の搬入が開始され、10日ほどで路面の亀裂を確認しました。その後、継続して再生土搬入車の往來があったため、徐々に破損が拡大し、現在の状況になっています。

**Q** 東京電力による修繕工事の確認後、1カ月にも満たない間に壊れ始めている。

**A** 再生土搬入事業者と平成30年4月に協議を行い、事業期間中の道路の維持管理、事業完了後の道路復旧を取り決めていきます。また、道路パトロール等で路面の状況が悪い場合は、その都度、修繕の依頼を行っています。

#### 今後の予定について

**Q** 利用者は道路環境が悪いことから迂回したり危険な道を走行せざるを得ない状況となっているが、今後の予定は。

**A** 再生土搬入事業者は県と埋め立て後の植林等の協議中で、事業が中断しています。事業者からは道路復旧の約束を書面であらうと聞いています。

### コロナ禍のピンチをチャンスに



河野 節子 議員

**Q** 新型コロナウイルス感染症の蔓延は生活様式や働き方に变化をもたらし、特にリモートワークの急速な普及で都市部から田舎への移住者が増加している。この機会に、地の利や自然環境の良さ、市全域に光回線網が整備されている香取市への移住、定住を積極的に進めるための補助制度の実態は。

**A** 移住者に対する補助金は、現状ではありませんが、他市の事例や財政負担等を検討し、調査研究していきます。

**Q** 移住体験施設を整え、閉校となった教室などを活用しシェアオフィスなどの環境を整備して市の特徴を宣伝し、人口減少に歯止めをかける施策を早急に着手すべきでは。

**A** 現時点では移住体験施設は設置していません。市内には、シェアオフィスなどもありませんので、調査研究していきます。

#### 複合公共施設の落札結果内容は

**Q** 総合評価方式一般競争入札により清水建設グループが55億9856万円で落札(落札率85.12%)、建設工事は13億円も安く落札(落札率68%)できた要因は。

**A** 主に3つの要因が考えられます。1つ目は、事業手法にDBO方式を採用したこと。DBO方式は事業者が自身のノウハウを最大限に活用できる方式で、その結果コスト削減につながったと考えます。2つ目は、複数の事業者が入札に参加したこと。価格競争が生まれたことです。競争性を確保するために、事業者の最も参画しやすいSPCを組成しないDBO方式を事業手法として選択した結果です。3つ目は、建設市況が下降局面に入ったため、建設コストも想定を超える下落幅となったことです。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済活動の変化も建設市況下降の要因の一つと考えます。

#### 質問事項

◆市道Ⅱ-9号線大崎地先の道路環境

**Q** 復旧の約束は書面のとおり実行してもらえるか。

**A** 状況を確認しながら書面のとおり復旧を求めています。

**Q** 先日、工事の看板や安全柵が突然撤去され、地区の人は業者が逃げてしまうのではと不安に感じている。万が一、書面の内容が履行されなかった場合や、納得のいく修繕でない場合に対策をすべきでは。

**A** 県条例や他市の対応状況を確認し、安全な道路の確保に向け検討していきます。



早期の復旧が求められている市道Ⅱ-9号線

#### 質問事項

- ◆コロナ禍を経験し、生活様式の転換が迫られている状況下、今後の市としての建設的な重点施策
- ◆佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業



香取市の魅力が詰まった移住ガイド